

かわる版

第 110 号
平成 22 年 5 月 1 日 発行

(発行)
富山大学附属病院
病院広報室
076-434-7019

目 次

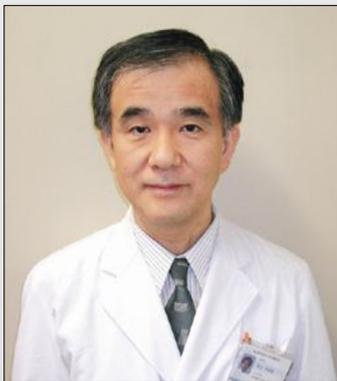
- 副病院長からのメッセージ 1
- 新人研修 2
- ナースステーションから 4
- 最新医療探訪 5
- 【特集】 治験ってなあに? 6
- 進む病院再整備 8
- 食と健康 9
- 地域を支える開業医さん 10
- 患者さんへのお知らせ 11
- イベントコーナー 12



「満開の桜」
(病院へ通じる構内道路脇)

副病院長からのメッセージ

～薬事担当副病院長として～



副病院長 (薬事担当)
足立伊佐雄

昨年 9 月より本院の薬事を担当する副病院長となりました。国際的に見て、日本における医薬品使用は多いと言われていますが、それぞれの医療制度の違いや医薬品の分類、統計などの取扱いにより、正確な比較は困難なようです。しかし、一人の患者さんへの処方薬

作成、抗がん剤の混合調製など広範囲に渡っています。また、院内における医療安全チーム、感染予防チーム、緩和ケアチーム、糖尿病ケアチーム、栄養管理チーム (NST) などの一員としても参画して医薬品の適正使用を目指しています。薬剤師の行うべき責務はこのように病院内全般に係わり多岐に渡っており全てに完全対応できている状況ではありませんが、極めて限られた人数で最大限努力しているところです。

昨今では、情報開示と個人の意思決定の重要性が広がってきています。医薬品においても、患者さん自身もご自身のお薬の正しい情報を得て、それを理解した上できちんと服用される事が望ましいことです。このためにも薬剤師からお渡しする「おくすり説明書」なども活用していただければと思います。

病気の治療には手術や医薬品が必須ですが、人体が有する抵抗力や免疫の重要性も知られています。食生活などが病気の予防や治療にも役に立つと言う古来中国の“薬食同源思想”をもとにして日本で造語された“医食同源”の考え方も広く知られるようになりました。食を含めた生活習慣の改善と適正な医薬品使用を推進することによって、薬の副作用の発生を最小限にして治療できるような環境を整えて医療貢献に努めてまいります。

数の増加は、薬の副作用の発生や飲み合わせの問題等を引き起こす確率を高くする事が知られています。医療保険上も多剤処方の制限が設けられていますし、現実的にも、お薬の種類が多くなりすぎると、それぞれのお薬の目的に合わせてきちんと服用することも段々難しくなることもあります。病院内でお薬の管理や調剤、情報提供を主に担っているのが薬剤師です。その業務は医薬品情報の収集、提供、医薬品全般の管理、医師からの処方箋のチェックと薬の調合をはじめとして、薬の血中濃度の測定/解析 (TDM)、院内特殊製剤の作成 (市販されていないもの)、また入院患者さんの薬物治療のサポートや抗がん剤による化学療法の内容のチェック、データベースの

新人研修

今年度は臨床研修医29名、新規採用看護師72名、コ・メディカル職員9名、事務職員2名の新しいパワーが加わりました。4月1日、臨床講義室Iでは今年度採用となった職員を一同に集め、遠藤病院長の『社会人(医療人)として為すべきこと』と題した講話を皮切りに今年度の新人研修が始まりました。約2週間の研修の後にはそれぞれの配属先で実践が始まります。



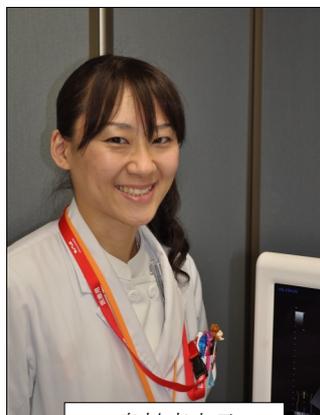
勢ぞろい!
フレッシュな臨床研修医



最後列左端：遠藤病院長 最後列右端：井上副病院長

4月1日より、富山大学附属病院で研修を受けることになりました奥村麻衣子です

私が社会人として大切にしたいこと……それは「チームワーク」です。学生の頃から教わりましたが、特に医療のような仕事は一人ではできません。



奥村麻衣子

私は学生時代に軽音楽部に所属し、歌を歌ったりドラムやベースなどの楽器を演奏しながら、バンドメンバーと曲を創り上げてきました。音楽では、それぞれの役割を果たしながら皆で同じ曲を演奏するのですが、これってチーム医療に似ていると思いませんか？

医師、看護師、薬剤師、検査技師などの様々な職種の人が集まって、それぞれの役割を果たしながら病気を治すという同じ目標に向かっていきます。

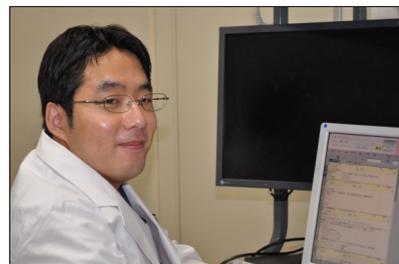
研修医はチームの中では最も未熟な故、皆様にご指導して頂きたいと思えます。もちろん患者さんとそのご家族も大切なチームの一員です！よろしくお願ひします。

3月に富山大学を卒業し、4月より当院にて臨床研修医として働き始めました藤田祥央と申します。既に病棟でお会いした方もいらっしゃるでしょうか。

子どもの頃、よく病院にお世話になっていた私が白衣を着て病院にいるというのは、まだどこか不思議なものがあります。医師としての自覚を持ち、少しでも多くの知識と技術を吸収していきたいと思います。忙しい毎日になると思いますが、皆様に少しでも笑顔になって頂くことで乗り越えていけると信じています。

至らぬ事もあるかと思いますが、先生方の指導を仰ぎながら医療チームとして全力を尽くし、皆様と共に病気について考えていくことで「この病院でよかった」と思ってもらえるような医療を行いたいと思います。そして研修を終える頃には、MADE IN TOYAMAの医師として皆様に認められるようになりたいと考えています。

これから2年間、どうかよろしくお願ひいたします。



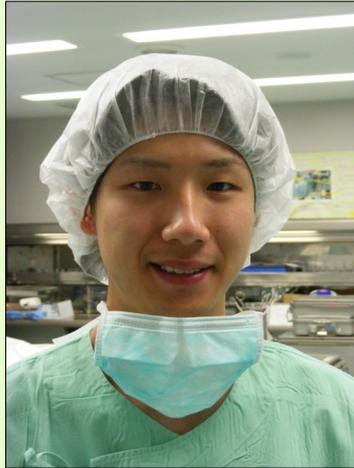
藤田 祥央

22年度の新人 抱負を語る！

臨床工学技士として

今年度から臨床工学技士として、医療機器管理センターへ配属となり、手術部勤務をいたします。

昨年度、私は地元である富山県の医療現場を実際に体験したいと思い、富山大学附属病院で臨床実習をさせていただきました。それは国家試験合格にも繋



手術部 黒田治樹

がる非常に有意義な実習となりました。臨床工学技士の方々は勿論のこと、先生方や他のスタッフの皆様の熱いご指導に心を打たれました。そして、自身も皆様と共にスキルアップをしながら成長していくことを決心いたしました。

私は手術部勤務のため、患者さんとのコミュニケーションをとる機会は少ないかと思えます。しかし、私にできることは院内での挨拶を徹底し、明るい雰囲気近づけること、心溢れる病院を嫌う人はいるのでしょうか。また、患者さんだけでなく、他のスタッフの皆さんとのコミュニケーションを取り、意思の疎通がとれた業務を行うこと。そして何より「学んだことは必ず自身の財産となる」ことを信じ、必要とされる臨床工学技士になります。

新人助産師として

この春から富山大学附属病院で看護の道歩むことになりました。

私たちは新しい命を迎える瞬間に立ち会うことができる助産師という道を選びました。看護学生の頃より当院にて看護実習をさせていただき、様々な患者さん・ご家族との出会いの中からや、患者さんそれぞれに合わせて的確に看護をなされる看護師・助産師から多くのことを学ばせていただきました。

4月より病棟で働き始め、一人一人のお母さんと赤ちゃんが安心して妊娠期、産褥期、新生児期を過ごすことができるような看護をしていきたいと思っています。そのためには看護や助産に関わる技術や知識の習得はもちろんのこと、患者さんが抱える思いを大切に、その人の持っている力を更に引き出せるように関わっていきたくです。また助産師として、赤ちゃん誕生の喜びをお母さん・ご家族と一緒に感じていきたいと思っています。まだまだ慣れないことも多く不安に感じることもあります。先輩方よりご指導をいただき、日々一歩ずつ笑顔で頑張っていきたいと思っています。



西3階病棟 菊地愛、小堀真祈子

新人看護師を迎えて

この4月、新規採用者が72名、うち新人看護師63名が就職し、病院は活気にあふれています。新人看護師の目標は、看護職としてのモラルを身につけること、日々の仕事に適応し看護のメンバーとして認められることです。

当院は特定機能病院です。様々な病気を理解し、急激な病状の変化に対応し判断していく能力が必要です。そのために研修を受け、知識を学び、看護技術を磨き、コツコツと努力を重ねていくこ

ろとが求められます。

新人看護師のそばには、頼りになる先輩看護師の臨床実践育成指導者、新人教育担当者、新人サポートナースがいます。一生懸命、その努力を支えようとがんばっています。

教えるほうも教えられるほうも、目指すものは質の高い看護であり患者さんの笑顔です。互いに研鑽しながら一緒に歩んでいきましょう。

（教育担当副看護部長 米道 智子）

ナースステーションから

～輸血・細胞治療部～

輸血・細胞治療部では、以下の業務を行っています。

『**輸血関連の検査**』輸血に必要な血液型の判定や、以前に妊娠や輸血歴があるとできる不規則免疫抗体の検査や、血液製剤との適合性をみる交差適合試験を行っています。これらの検査を正確に実施することで輸血の安全性を確保しています。

『**血液製剤の保管管理**』輸血が必要な時、迅速に提供できるよう準備しています。

『**自己血貯血の採取と管理**』自己血輸血は手術に先立って、患者さんの血液をあらかじめ貯血しておいて、手術時に本人の血液で対処する方法です。有効期間が42日間あるので、1000mlを超える貯血にも対応できます。ご希望があるときは担当の先生にご相談下さい。

『**移植医療のための幹細胞採取と血液細胞の処理**』移植医療には造血幹細胞が必要になる治療があります。造血幹細胞を採取するには、末梢血管より専用の装置を使用して採取する方法、手術室で骨髄から採取する方法と臍帯血から採取する方法があります。

また洗浄操作や濃縮操作を行って、より安全な血液製剤の提供を行っています。患者さんの血液から、手術のときに使用する止血効果のある自己フィブリン糊も作成しています。

『**感染症の検査**』いろいろな感染症の検査を行っています。

輸血療法を受けられた方は、輸血後感染症の有無を確認するため、最終輸血から2～3ヶ月後に感染症の検査を受けられることをお勧めします。

輸血に関する疑問・質問などありましたら
輸血・細胞治療部にご連絡下さい。

(TEL : 076-434-7790)



幹細胞採取の様子

～透析部～

透析部は、「**血液浄化療法**」を行う診療部門です。

『**血液浄化療法**』とは、血液中に貯まった有害な物質を取り除いたり、体内に足りなくなった物質を補うことにより、病気を治療する治療方法です。末期腎不全の患者さんが行う**血液透析**や**腹膜透析**などの治療もその一種です。当部では、特に透析療法の新規導入、長期透析の合併症・併存症の治療、重症例や難治性疾患に対する各種血液浄化療法、などを行っています。

透析療法とは、腎機能が廃絶してしまった患者さんの腎機能を代行するための治療法です。透析には血液透析と腹膜透析がありますが、当院ではその両者の新規導入を行い、透析導入時に発生しやすい虚血性心疾患や心不全、骨代謝異常、貧血などの管理もを行っています。腹膜透析に導入された患者さんは外来で管理を行っています。また、長期透析の合併症や併存症により透析患者さんが他院より紹介入院された際には、他の専門領域の診療科と協力



透析室スタッフ（医師・技士・看護師）

しながら、透析療法のバックアップを行っています。そのほか透析困難症例や敗血症、ネフローゼ症候群、慢性C型肝炎、その他の難治性疾患に対する各種血液浄化療法も、各診療科と連携して積極的に行っています。

患者さんに安心して血液浄化療法を受けていただくために、医師・看護師・臨床工学技士などが協力して一丸となって、治療にあたっていきたく考えています。



血液透析



腹膜透析

最新医療探訪 ～ 不育症の原因を探る ～

産科婦人科教授 齋藤 滋



妊娠はするけれども、流産や死産を繰り返し赤ちゃんを持たないカップルを**不育症**と呼びます。不育症に関しては、これまであまり研究がなされておらず、どのような要因が不育症の原因となるのか、どのような検査をすれば良いのか、どんな治療があり、成功率はどのくらいかなどほとんど不明でした。平成20年度より始まった厚生労働科学研究班（班長：富山大学産科婦人科 齋藤滋）により、不育症の全貌がかなり明らかになってきました。流産・死産を繰り返すため赤ちゃんを諦めていたカップルも適切な検査、カウンセリング、治療を行うと85%近くの方が赤ちゃんを持てることがわかりました。今回は不育症につきお話しさせていただきます。

1. 流産はどれくらいの頻度で起きますか？ 不育症で悩む女性はどれくらいいますか？

流産は全妊娠の約15%に起こり、高齢になると流産率は増加します。不育症に悩む女性がどのくらいいるかは正確にはわかりませんが、2回以上の流産を経験する女性が年間約4万人くらいおられます。不育症は決して珍しいものではありません。

2. 不育症の原因は何ですか？

さまざまな原因があります。流産の原因の大部分（70～80%）は偶然起こってしまった胎児（受精卵）の染色体異常が原因で、両親の原因であることは少ないとされています。そのため1回の流産で原因を調べる必要はありません。しかし2回～3回以上流産を繰り返す場合は、両親のどちらかに原因がある場合があるので、検査をお勧めします。1回の流産でも妊娠10週以降の場合では母親の要因が重要な場合があるので、検査をする意義はあります。原因としては図1に示すように子宮形態異常（子宮の形が悪い）、甲状腺機能異常、夫婦どちらかの染色体異常、抗リン脂質抗体異常、凝固因子異常（XII因子欠乏症、プロテインS欠乏症、プロテインC欠乏症）があります。富山大学では、この他に母親の免疫能（NK活性）や抗リン脂質抗体の一種である抗PE抗体を調べています。先に述べたように流産の約80%に胎児の染色体異常があるので、3回繰り返したとしても確率的に50%は胎児染色体異常をたまたま繰り返しただけで、50%は原因不明となります。意外に原因不明が多いことに驚かれるかもしれませんが、これらの方は偶然が重なってしまっただけのカップルです。

3. どのような治療法がありますか？

子宮形態異常では子宮の整形手術を行ったり、子宮筋腫やポリープを切除したりします。甲状腺機能亢進や低下は流産の原因となるため内科的な治療を行います。抗リン脂質抗体陽性例や凝固因子異常（血栓ができやすい異常）があればアスピリン（内服薬）やヘパリン（注射薬）を用いて治療を行います。特にヘパリン注射は朝晩毎日続けることになるので大変ですが、患者さんたちは頑張っておられます。夫婦の染色体異常であると、確かに流産率は高い（50%程度）のですが、妊娠を諦めずに次の妊娠にトライしてもらおうと結果的には85%程度の方が元気な赤ちゃんを持てることも研究班の調査により明らかとなりました。また生まれてきた赤ちゃんの異常も正常な方と差がありません。その他、富山大学では免疫の機能を調べて、赤ちゃんを拒絶する力の強い人にはプレドニンという免疫抑制剤を少量内服していただき、免疫機能を正常に戻してから妊娠していただき好成績が得られています。

不育症の原因

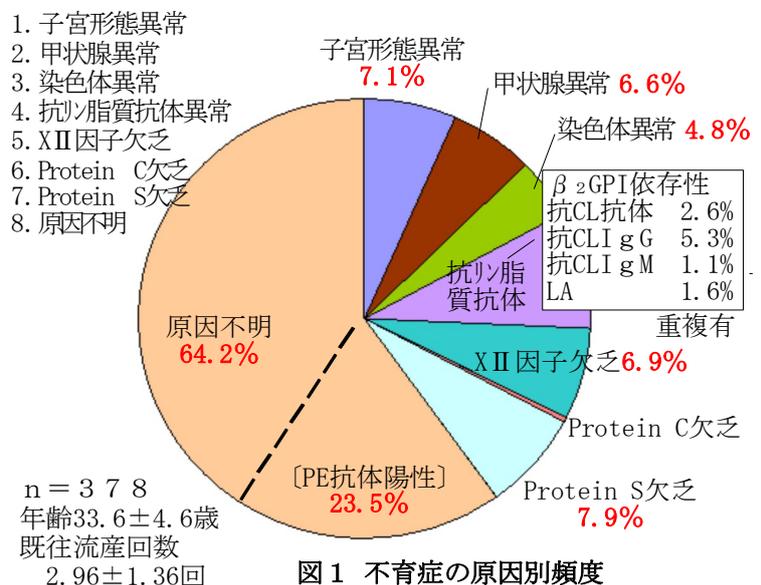


図1 不育症の原因別頻度

特集 治験ってなあに？

治験って何ですか？

「治験」とは、その字を見ると「治療+試験」の両端を取ったように見えますね。製薬会社が「薬」を製造・販売する際、国（厚生労働省）から承認を得るために、医療機関に委託して行う試験のことで、人に対してその効果の確認を行う試験のことを言います。患者さんにご協力いただきますので、治療的試験という見方もできるかもしれません。くすりの立場からすると、単なる薬物が医薬品として認められ、患者さんにお届けできる「おくすり」であることを確認するための試験といえます。現在使用している医薬品のほとんどがこの治験を行って、国が承認したものになります。大学病院ですので医師が独自に行う臨床研究（大学の倫理委員会等の承認済み）もありますが、治験とは管理する部門も関係法規も異なります。こちらについてはまた別の機会と致します。

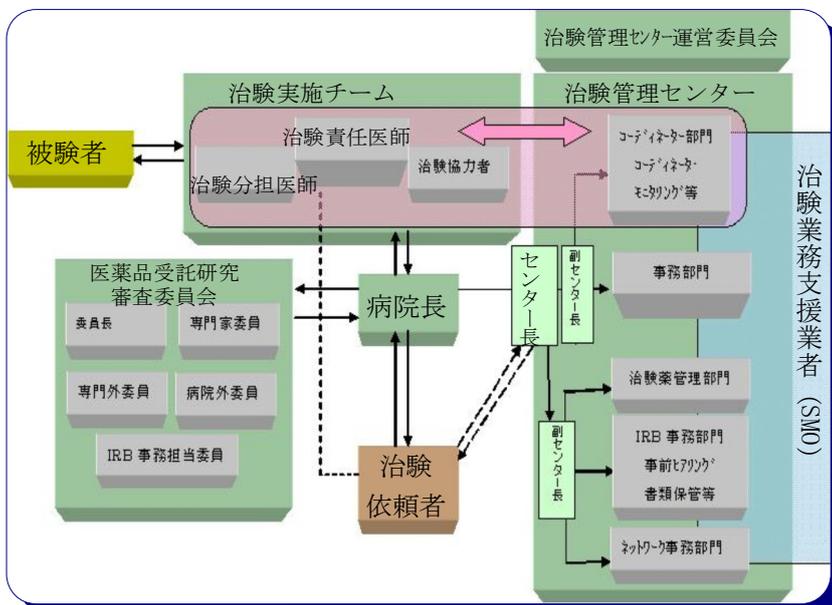
治験を実施する仕組み

製薬企業等は薬の基となるものを見つけ、その効果を試験管レベルで検証した後、実験動物を用いて効果と毒性等の試験及び検討を行います。人での安全性が科学的に推測できた場合に、まず健康な成人男性の方に試していただき、認容性を検証します（治験第1相試験）。最終的な効果、特性は、実際にその病気でお悩みの患者さんに使用してみなければ証明できません。そのため製薬会社は医療機関に試験を依頼し、その薬の効果と安全性を客観的に検証します（治験第2,3相試験）。製薬企業はこれらすべての試験結果をまとめて、厚生労働省に対して「おくすり」として承認してもらうための申請を行います。

実際に治験を行う場合は製薬企業及び医療機関は、薬事法の中のGCP（医薬品の臨床試験の実施に関する省令）に従わなくてはなりません。医療機関で行う場合の主な基準の一部をご紹介します。

- ・ 治験は病院長と製薬企業が契約を締結の上実施すること。
- ・ 契約の前に病院長は治験審査委員会で科学性と倫理性について審査し、承認を得ることが必要で、承認なしでの実施は出来ない。
- ・ 治験審査委員会は医学薬学等専門委員のほか専門外委員及び施設外委員の参加を必須条件としている。
- ・ 実施責任者として責任医師を定め、治験審査委員会でその的確性を審査する。
- ・ 対象となる患者様には治験の内容（試験内容～メリット・デメリット～他の治療方法等々）を文書で説明し、さらに同意いただく場合も文書で取得しなければならない。
- ・ 試験を適切に実施しているかを確認するため、製薬企業からのモニタリング・監査を受け入れなければならない。（症例報告書とカルテの記載の照合・確認等）

このように、担当医師と製薬企業の担当者のみで行われることはなく、多くの人が関わることで、試験の信頼性、安全性そして客観性を維持する仕組みになっています。ただし患者さんの個人情報に直接触れる場合もありますので、関係業務に関わる担当者については法的に規制を受け、個人情報外部に漏れることのないよう、細心の注意及び配慮がなされています。



富山大学附属病院の治験実施体制

治験管理センター

治験管理センターは何をすること？

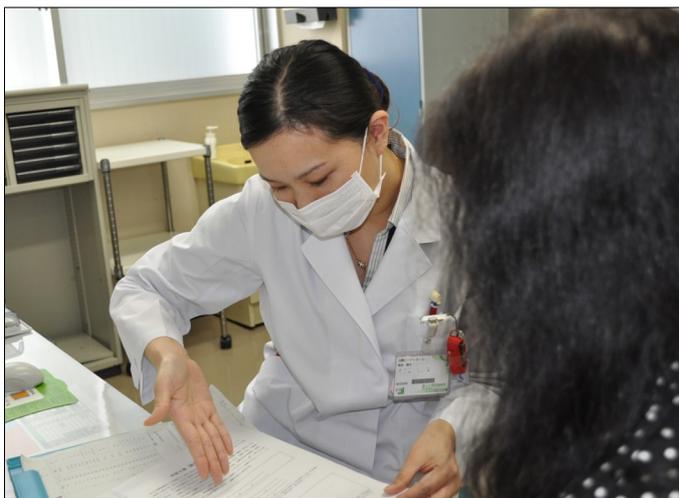
現在の治験は担当医師一人では実施することが難しく、サポートする部門が必要となります。そこで生まれたのが治験管理センターです。

治験を依頼する製薬企業に対する窓口業務、治験審査委員会事務局業務、契約等事務業務、治験コーディネーター業務、モニタリング・監査受け入れ業務、治験参加患者さんに対する医事業務などが主な業務になります。

治験コーディネーター業務

治験コーディネーター業務は聞きなれない方もいらっしゃると思いますが、治験担当医師をサポートする人を治験コーディネーターといいます。日本では主に看護師、臨床検査技師、薬剤師がこの業務を行っています。具体的には治験のスケジュール管理、同意取得時の補助説明、患者さんの来院スケジュール管理、来院時の残薬回収、有害事象等体調に関する事前確認、製薬企業からのモニタリングの対応、症例報告書の作成補助など、治験担当医師の診療業務以外の治験に関する業務の多くをお手伝いすることになります。

本院では治験コーディネーターや治験事務局業務を専門に請負う業者（治験業務支援業者：SMOといいます）と業務提携契約を締結し、治験コーディネーター業務及び治験事務局業務の一部を委託しております。製薬企業、病院、SMOが関わることでより客観的に評価でき、患者さんには安全な治験を目指しています。



患者さんに説明する治験コーディネーター

本院では年間十数件の新規治験の依頼があり、継続して実施している分を含めると、平均して20件くらいの治験を実施しています。生活習慣病から難治性疾患に対する治験まで多岐に渡ります。製薬企業が紹介する新しい治験が本院で実施可能か、担当診療科の医師と検討することや、患者さんの治療の選択肢が増えるように、より多くの治験が実施できるように製薬企業へ働きかけをするのも治験管理センターの仕事です。

今後、治験のお話を医師がする場合があるかもしれません。新しいおくりはこの治験を行わなければ、一般の患者さんが使うことが出来ません。そのため患者さんのご理解とご協力が必要不可欠です。まずはびっくりなさらずにお話だけでも聞いていただけますよう、お願い申し上げます。

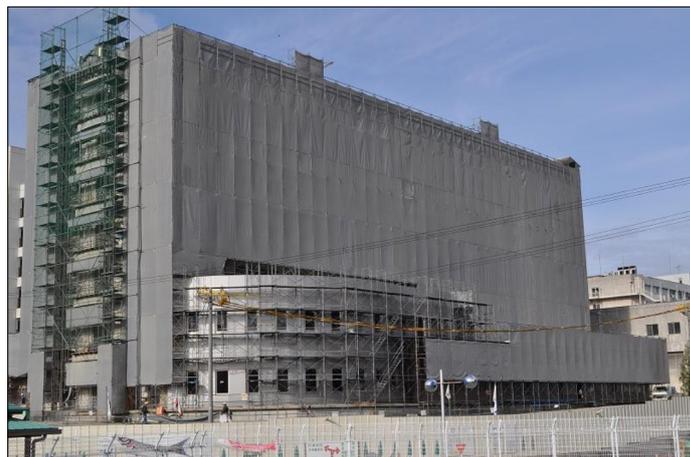


治験管理センター（事務室内の様子）

進む病院再整備

病院再整備担当

平成20年11月13日、新病棟建設の起工式が行われてから順調に工事も進み、予定通り本年11月には第1期の新病棟が完成する見込みです。躯体工事は既に終わり、電気工事・内装工事へと進んでいます。1・2階は間仕切り工事も終わり、既に部屋の形ができてきています。

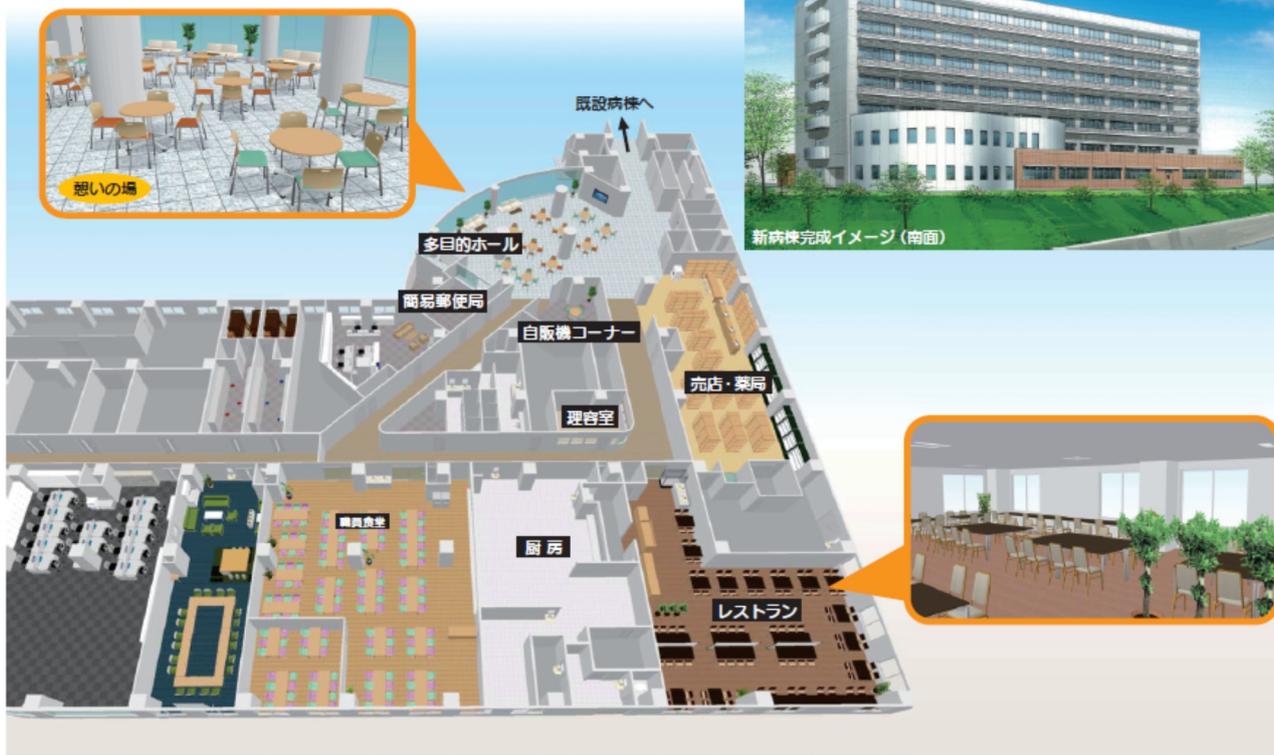


南側から見た新病棟（2010年4月15日撮影）



新病棟に整備される4床室のイメージ

新病棟1階サービス施設イメージ



憩いの場

新病棟完成イメージ（南面）

憩いの場 新病棟1階には多目的ホールがあり、患者さんや来院される方々の憩いの場としてご利用いただけます。また、入院患者さんのためのいろいろなイベントにも利用する予定ですので、どうぞご期待ください。また、皆様にご利用しやすいように、多目的ホールの近くには簡易郵便局・自動販売機コーナー・売店・薬局があります。

レストラン 売店の奥には従来よりも格段に広く明るくなったレストランがあります。座席も84席あり、ゆったりとお食事・喫茶をお楽しみいただけます。

研修医室 1階奥には広い研修医室が整備されており、隣には人体模型を使って医療技術訓練を行うスキルラボが設置される予定になっています。充実した設備と環境で優秀な研修医を育てていきます。

食と健康

～みなさんのお食事、私たちが担当しています！～

栄養部 栄養管理室



管理栄養士

栄養管理室では毎日の食事を患者さんが喜んで召し上がっていただけるよう、ひとりひとりの患者さんの治療状況に合わせたきめ細かな食事作りはもとより、安全・安心に細心の注意を払っています。

スタッフ全員が富山県で一番おいしい病院食を目指して、毎日取り組んでいます。



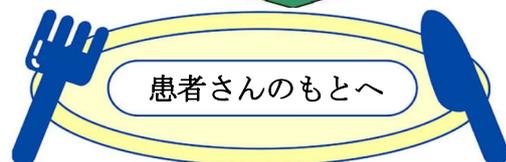
盛り付け班



食事確認



入れ込み



『入院しとると、楽しみは食事だけやちゃ』とか、
『病院の食事はしょん^{※1}なて、しょんなて・・・』
『今は、寝とるからいいけど、今までの半分しかないわ!』などという声をよく耳にします。

患者さんの食事の内容、硬さや形態、分量など、適正な食事が提供されているか？治療のために吐き気や嘔吐があったり、また匂いなど、食べにくいことはないだろうか？必要な栄養量は摂取されているだろうか？そのようなことを確認するために、私たち栄養士がベッドサイドへ伺って、入院中の栄養管理が少しでも充実されるよう、働きかけています。

毎日、約500人の方が本院の病院食を召し上がっておられます。食事の種類は多数ありますが、特に制限のない一般食に加え、エネルギー、塩分、蛋白質などの制限がある特別食があります。また、主食では、ご飯、軟飯、全粥、7分粥、5分粥、3分粥、おも湯、ミキサー粥、パン、玄米、麺類、低蛋白ご飯など、10種類以上もの種類があり、分量もそれぞれに合わせた量になっています。副菜も常菜、軟菜、特軟菜、分粥菜、キザミ菜、ミキサー菜、とろみ菜、流動菜、ソフト菜など様々な形態をそろえています。そのような食事を提供するために、調理・盛り付け従事者の勤務時間は人によって様々ですが、一日35～40名が分担して対応しています。その他、食器の洗浄を行う人、食材を発注調整、検収する人なども必要です。

栄養管理をすることで、体調・体力を維持し、少しでも治療効果が上がるよう、栄養管理室スタッフ全員が力を合わせて、日々患者さんに喜んでいただける食事の提供に取り組んでいます。

※1：『しょんなて』は富山弁で『味がない』という意味

地域を支える開業医さん

このコーナーでは本院に多くの患者さんを紹介していただいている地域の開業医さんをご紹介します。

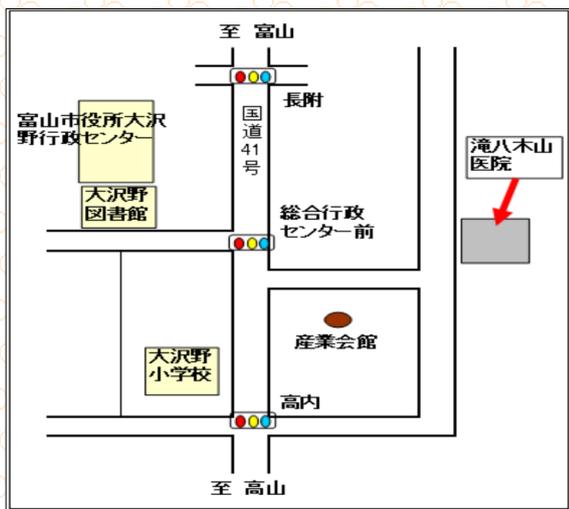


滝 八木山医院

所在地 富山市八木山56
 TEL 076-467-0375
 診療時間 月～金
 午前 9:00～12:00
 午後 2:00～ 6:00
 土曜日 午前 9:00～12:00



院長 滝 邦康 先生



院長先生より一言

昭和63年12月で富山医科大学附属病院放射線科助手を辞し昭和64年1月から滝 医院、滝 八木山分院の副院長として勤務。平成7年2月分院から昇格した滝 八木山医院で内科、放射線科、小児科を標榜し現在に至っております。また、平成11年には特別養護老人ホームささづ苑を立ち上げ、配置医師として入所者の健康管理に当たっています。開業医の間口の広さに戸惑いながら日々診療に従事しています。また、画像診断を全てPACS化し、one stop shopを心掛け必要時には第2次病院、更に富山大学附属病院へと診病・病病連携で地域医療を支えています。宜しくお願ひ申し上げます。

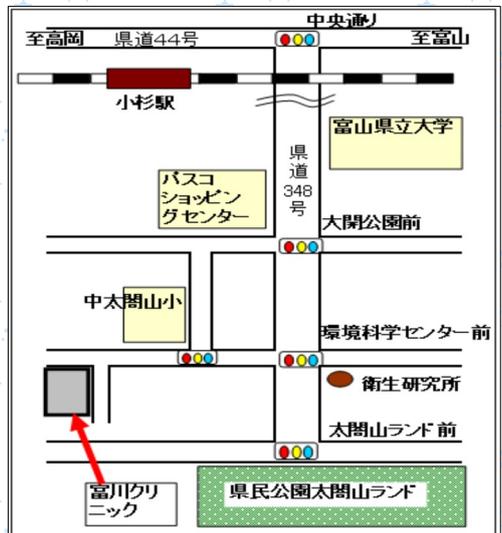


富川クリニック

所在地 射水市南太閤山3-1-15
 TEL 0766-56-7373
 診療時間 月～金
 午前 8:30～12:30
 午後 3:00～ 6:30
 土曜日 午前 8:30～12:30



院長 富川正樹 先生



院長先生より一言

富山大学附属病院とは開院時から、大学とは富山中部高校仮校舎時からのお付き合い。第一外科学教室で一般外科、心臓・血管外科医として、また授業にも出ていました。平成元年、研究を兼ねたクアハウスを参考に血流障害の患者さんに効果的な高濃度炭酸泉(温泉治療)を取り入れ開業いたしました。また、検査を速やかにの思いから、ヘリカルCT・エコー、最新の内視鏡など医療機器を備えることに努力し、患者さんに適した科に紹介できるよう、また治療が速やかに始まるようお願いしています。学生時代から存じている先生方が中核となり、昼夜治療に一生懸命な大学病院へ安心して患者さんを紹介しています。

患者さんへのお知らせ

医療サービスグループ

がんばっています！ 保安員（警察OB）さん

4月1日付で「保安員（警察官OB）」1名を配置することとなりました。病院内外（病院敷地内）の巡回・巡視を実施し、患者さんに安全で且つ、安心な病院環境を提供できるようにと目指します。この保安員の方は、この3月まで現役の警察官として、いろいろな部署でご活躍されていた方です。アクシデントの発生時には豊富な経験と知識を生かして対応して頂けると期待しています。

本院と致しましては、これからも皆さんが安心して診療を受けられますよう、より良い病院環境作りに取り組んでまいります。



患者さんの声にお答えします

《患者さんの声》

会計窓口等の待ち列を銀行のATMコーナーのように、蛇行状かフォーク状の並び方にできませんか。各列の進むスピードが一定でない（各患者さんで対応処理時間に差がある）ために、速くなったり、遅くなったりして、他の列の方と同じ順位に並んでいても各順位同時に進まないのは不公平では。

《お返事》

先ず、銀行等との大きな違いは、来院される方の状態です。本院は医療機関でありますので、来院される方のほとんどの方はご病気の方です。特にご高齢の方、身障者、ご容態の悪い方、お子様方等への配慮も必要です。また、1日の来院患者数が平均で1,200人前後となっています。実際、以前にフォーク状や蛇行状の並び方を試してみましたが、患者さん等からのご意見や苦情があり、不評だったために現在の各窓口別に並んでいただくこととなりました。

その主な理由といたしましては、

- 誘導線のポールやロープを設置したことにより、幼児等、子供達がロープで遊び何度もポールが倒れ、他の患者さんに当たったりしてご迷惑と危険だったこと。
- フォーク状に並ぶことにより、患者数が多いために後方の方がエレベーター乗降口前を越え、エレベーター乗降者への妨害や待ち合いフロアの横断等の通行妨害となり、苦情が発生したことです。

- 蛇行状に並ぶことにより、ご高齢者、車椅子や身障者の方には移動がスムーズにはいかず困難だったこと。
- 窓口から、特に容態が悪い患者さんや目の不自由な患者さん等の目視上での把握・状態観察等、窓口職員が安全管理のために行っている観察に目が行き届かなくなり、危険度が高まること。
- 患者数の増加に伴いますフロアスペースの狭さ及び各窓口位置等の問題もあり、現状では実施困難となっています。
- 会計受付処理時間は、受診科数により画面上での確認項目や保険証（受給者証）等の確認行為及び簡単なご質問の対応等で、各患者さん毎の対応に時間差が生じます。何卒、ご理解頂けますようお願いいたします。



イベントコーナー

春の歌声

Lobby Concert

3月14日の午後のひととき、病院の玄関ロビーにはクラシックの歌声が響きました。このコンサートは県内出身で愛知県立芸術大学に在学中の4人（声楽専攻3人、作曲専攻（音楽学）1人）によるもので、今年で3年目となります。ディズニーアニメの曲も交えて楽しい40分でした。

出演者

松村美里（ソプラノ）
安田裕美（ソプラノ）
安井綾香（メゾソプラノ）
伊藤 円（ピアノ）



伊藤さんの司会で始まったコンサート

ぶんちゃんのバルーンショー

4月11日（日）、今年もぶんちゃんのバルーンショーに子どもたちは大喜びでした。「ぶんちゃん」は普段は石川県の病院でお仕事をされていますが、休みにはボランティアで各地を回って子どもたちに幸せを運んでいます。青や黄色の数本の細長い風船が、あっという間にいろいろなキャラクターに変身！

出来上がったアンパンマンやミッキーマウスなど、集まってくれた子ども達ひとりひとりにプレゼントしました。

「ぶんちゃん、ありがとう！」



ぶんちゃん



今月の花



いつもかわいい花が飾られているRI検査室

受付に飾られた「ノースポール」春先から6月ごろまで小さな白い花を咲かせます。庭で咲いた花を持ってきました。

編集後記 「病院交差点」



大学構内の桜（4月15日撮影）

今年の富山の桜は五月の陽気に誘われて例年より6日も早い4月6日に満開となりました。しかし、花見の後は冬の寒さがぶり返し、昨日・今日と山沿いではみぞれが観測されるなど不順な天候が続いています。4月15日（今日）の最高気温は9℃までしか上がらず、大学構内の桜の花もなんとなく寒々と咲いています。今年の春は三寒四温どころではないくらい寒暖の差が激しく、1日毎にめまぐるしく天候が変わりました。例年、細長い日本列島を駆け足で駆け上がる桜前線も今は足踏み状態かもしれません。気象庁のデータによれば平年の満開日は高知：4月1日、鹿児島：4月3日、東京：4月5日、富山：4月12日、青森：5月1日、根室：5月25日だそうです。

桜が終わると今度はつつじや新緑の季節、そんな四季の移り変わりは病院の周りでも楽しめます。（病院広報室 S. I記）